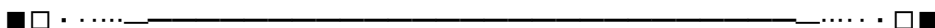




『週間FX投資戦略』

グローバルインフォ代表取締役社長 和田 仁志



□

■ 「それ以上の未知の世界へ」



先週は、ドル円は上値を試したものの、週末に急落する展開となりました。週明け早朝に、EU、IMFのアイルランドへの金融支援が正式に決定しましたが、イタリア、ポルトガル、スペイン国債などが急落したことを受けて、ユーロドルが下落。

全般ドル買いが強まる動きとなったことを受けて、84円台半ばまで買われる展開となりました。

米10年債利回りが一時3%台の大台に上昇したことも、買いを後押ししています。ただ、上値では84.50円から断続的に観測された、本邦輸出勢のまとまった規模の売りが嫌気されたことで、次第に上値の重い展開に。週末に発表された11月米雇用統計が、市場予想を大幅に下回る弱い数字となると、一気に売りが加速しました。

一時82.52円の安値まで急落しています。ユーロドルは、週末にかけて買い戻されました。2日には、トリシェ ECB 総裁の定例記者会見中から、ECBがポルトガル、アイルランド国債の買い取り介入を実施。独国債との利回りスプレッドが急速に縮小したことを受けて、買い戻しの動きが強まっています。

一時1.3438ドルの高値まで上昇して引けています。

先週は、欧州債券市場の大混乱が為替市場をかき乱すことになりました。事の発端は、EU、IMFによるアイルランドへの金融支援の正式決定と同時に合意された、2013年以降の欧州版IMFの骨格にありました。

焦点となっていた民間投資家の負担に対しては、「ケースバイケースで適用する」という曖昧なものとなっており、「最後の手段」としてのリスク（債務再編）となった場合には、損失負担を余儀なくされるのは明白です。

返済期間の延長にしろ、金利の減免にしろ、元本の削減（ヘアカット）にしろ、リアルマネーなどが、「将来どうなるのかよくわからない欧州債」を売りに動くのは、ある意味当然の行動で、スペイン国債をはじめ、イタリア国債、ベルギー国債といったところまでもが、連日の暴落となりました。

さらに、この「将来的なデフォルトを前提とした欧州安定メカニズム（ESM）」に対しては、「米国がIMFを通じて欧州安定ファシリティ（ESFS）の規模拡大を支援する」との関係者の話も飛び出す始末で、米財務省が後から「この報道」を否定してはいますが、市場へ与えた衝撃は尋常なものではありませんでした。

要するに、表向きは米国政府が「IMFへの拠出金」という形で出資したものが、結果的には紛れもなく、「米国が欧州に資金注入」ということになるわけで、一部市場参加者からは「ちょっと信じ難い」との声も聞かれています。

通常ならば、米国がかつてしてきたように、プライベートエクイティファンドや、ヘッジファンドなどからも資金を募って、民間資金からファンディングする手法をとるはずですが、間接的とは言え、いきなり米国政府の資金を頼ることになるとは、「欧州自身では、ファンディング出来ない」という白旗を掲げることになってしまいます。

バーナンキFRB議長がヘリコプターから米ドルをばら撒くという、非伝統的手法を使った「まだ見ぬ世界」への挑戦を始めていますが、もしこれが真剣に検討されているのなら、「それ以上の未知の世界」へ足を踏み入れることになります。

先週末に発表された11月米雇用統計を受けて、米10年債利回りが「急騰すると思った」参加者も多かったはずですが、引けにかけては急速に売り込まれて、利回りは3%台を回復しました。



---

【ご注意】

本相場見通しは、投資に関する断定的判断を提供、またその内容に関する責任の一切を負うものではありません。投資の最終判断はご自身でお願い致します。

---

※このメールは、エース取引株式会社からのお知らせをお送りすることにご了承いただいている方へお送りしています。

※メール配信の停止を希望される方はこちらから↓

[%url/http:out:stop%](#)

---

エース取引株式会社 オンライントレード部 エース365担当

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-24 エースファーストビル

フリーコール 0120-7464-90 TEL:03-5485-4494

FAX:03-5485-5081 mail: [click-fx@acekoeki.co.jp](mailto:click-fx@acekoeki.co.jp)

ホームページ <http://www.fx-365.jp/>

---

取引所為替証拠金取引「エース365」（以下、本サービスといいます）を提供する者の名称はエース取引株式会社（登録番号：関東財務局長（金商）第251号）で、（社）金融先物取引業協会及び（社）日本商品投資販売業協会に加入している金融商品取引業者です。

・本サービスの最低取引単位（1枚）は1万通貨または10万通貨単位（※1）です。売買手数料は、1枚当たり片道税込210円～1,050円（日計り決済時105円～630円）、預託していただく証拠金の額は、1枚あたり取引金額（想定元本）の2%以上で、通貨ペアの種類により決まります。

・実際の取引金額は、証拠金の額に比して大きいため、少額の資金で大きなポジションを保有することが可能ですが、その損失の額が預託していただいた証拠金額を上回る可能性があります。

・証拠金に対する取引金額の比率は50倍以下です。また、日々の為替レートや証拠金額の変更等で異なります。

・ロスカットルールは、お客様の資産の損失拡大を防ぐためのルールですが、必ずしもお客様の損失を限定するものではありません。各国の政治、経済状況の変化及びそれに関連する金融市場の変化、金利相場、経済指標の数値の変動等により、急激な相場変動が起こった場合、預託した証拠金の損失、若しくは預託した証拠金を上回る損失となる可能性があります。

・当社が提示する各通貨ペアには売付けと買付けに価格差があり、またスワップポイン

トには支払いと受け取りがあります。

・スワップポイントは、各国の信用状況や金利情勢等により日々変動し、取引対象である通貨の金利変動により受け取りから支払いに転じることがあります。

・本サービスは、お客様から預託を受けた証拠金が当社に滞留する場合には、お客様の資産を安全に確保するため、三井住友銀行の信託保全サービス「クリアリングトラスト」を実施しておりますが、法令上要求される区分管理必要額算出日と追加信託期限に時間差等があることから、いかなる状況でも必ずお客様からお預りした証拠金等が全額返還されることを保証するものではありません。

上記リスクは、本サービスにおける主なリスクについて記載したのですが、これがすべてとは限りません。

ご契約の際は契約締結前交付書面を十分に熟読の上、リスクや取引の仕組み等の内容をよくご理解いただき、ご自身の判断と責任のうえお申込みください。

(※1) ランド／円、香港ドル／円、スウェーデン・クローナ／円、ノルウェー・クローネ／円の取引単位は10万通貨、それ以外の通貨ペアは1万通貨単位です。

お客さまのご相談連絡先：当社本社内／コンプライアンス部（電話：03-5485-4161）、若しくは証券・金融商品あっせん相談センター（電話：0120-64-5005）にお願いいたします。

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第251号

（社）金融先物取引業協会会員（会員番号1307）

（社）日本商品投資販売業協会会員

取引所為替証拠金取引「エース365」（商標登録出願中）は、エース取引株式会社のサービス名称です。

---

・お客様の個人情報は、当社の個人情報保護ポリシーに基づき、適切に管理させていただきます。

個人情報保護ポリシー：<http://www.fx-365.jp/privacy.html>

---

・電子メールの特性上、送信過程で内容欠落、送信遅延、ウィルスの混入その他の不都合が生じることがございます。これらにつきましてエース取引株式会社は責を負いかねますのでご了承下さい。また、エース取引株式会社は本メールの送信を監視する権限を持っています。

・当社に関するお問い合わせは下記URLよりお願いします。

<http://www.acekoeki.co.jp/contact/>